

『炭の製造と利用技術』正誤表

頁数	誤	正
p.135 12行目	筆者らと農林水産省農業環境技術研究所との交流研究によって、集積・単離・培養した	筆者らと農林水産省農業環境技術研究所との共同研究によって、集積・単離した
p.135 13行目	CAT分解菌 <i>Arthrobacter</i> sp. および PCNB分解菌 <i>Burkholderia cepacia</i> KTY97 ¹⁵⁾ を供した。	CAT分解菌群CD7 ¹⁵⁾ (新規分解菌 β - <i>Proteobacteria</i> CDB21 ¹⁶⁾ 、 <i>Bradyrhizobium japonicum</i> CSB1、 <i>Arthrobacter</i> sp. CD7wの3種細菌で構成される複合系)およびPCNB分解菌群PD3 ¹⁷⁾ (新規分解菌 <i>Nocardioides</i> sp. PD653 ¹⁸⁾ 、 <i>Burkholderia cepacia</i> KTY97、 <i>Methylobacterium</i> sp.、 <i>Caulobacter</i> sp. の4種細菌で構成される複合系)を供した。
p.136 3行目	改良土壌還流法 ^{16),17)}	木炭還流法 ¹⁹⁾
p.136 19行目	改良土壌還流法	木炭還流法
p.140 8行目	改良土壌還流法	木炭還流法
p.143 参考文献	15) 特許第2904432号(1999).	→ 削除
	16) 特許第3030370号(2000).	→ 削除
	17) アメリカ特許第6451580号(2002).	→ 削除
	新規追加 →	15) 高木和広他：農業技術,59,pp.449-453(2004).
	新規追加 →	16) A.Iwasaki et al.：Pest Management Science, 63,pp.261-268(2007).
	新規追加 →	17) 高木和広：農業環境科学研究, 第16号, pp.34-42(2008).
	新規追加 →	18) K.Takagi et al.：Appl. Environ. Microbiol.,75(13), p.4452-4458(2009).
	新規追加 →	19) 高木和広：農業技術体系土肥編第3巻,追録第11号,pp.49-55(2000).